

新生アトムがスタートして1ヶ月が経ちました！

田丸 あけみ

あと1か月で今年も終わります。2014年は、世代交代や建て替えなどアトムにとって、本当に色んな事が大きく動いた一年でしたが、11月も本場に濃い1か月でした。

11月2日(日)に、アトムのホールにて竣工式典を行いました。

式典では、保護者会スタッフが、作成してくれたスライド(旧園舎から新園舎が完成するまでの様子)を上映しました。スライドを見ながら、これまでの様々な出来事を思い出し、目頭が熱くなりました。

式の後では、アトム・つばさ両園の保護者会からアトム共同保育園に贈り物を頂きました。

アトムの保護者会からは、保護者に募って集まった寄付金で、クラスネームと、寄付金を頂きました。つばさの保護者会カンガルーの会からは、植樹・芝生の一部・ウエルカムボード・ハンモック・お守り(0,1歳児保育室に吊るしています)を頂きました。(ハンモックとお守りは、つばさの保護者菅生さんの手作りです)本場にありがとうございます。

午後からは、育心会主催“第4回アトム寄席こけら落とし公演”が開催され、ホール内は満員の観客となりました。アトム周辺の地域住民の方もたくさん来て頂き、話しをする機会がありました。工事期間中は、大変ご迷惑をお掛けしたにも関わらず、温かい声をたくさん掛けていただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

11月から、148名の子ども達がアトムでの生活をスタートさせています。

旧園舎と違い、隣のクラスがよく見え、光もたくさん入り開放感のある園舎にとっても感動しました。無認可時代は隙間風が入るプレハブ園舎で、この様な建物で保育が出来るとは、当時、想像もしていませんでした

そんな新園舎の中での保育は、新年度を迎えたようでした。特に0,1歳児は、新入園児が多く、泣き声の大合唱。そして職員もまだ慣れない環境での保育。正に混乱期の1か月でしたが、2,3週間を過ぎた頃から子ども達の泣き声も随分と減り、日に日に園生活に慣れてきてきている様子が伝わってきました。

職員も連日、引越し作業や保育室作りに追われ、休み間もなく新園舎での保育開始と、多忙を極めました。目まぐるしく過ぎていく日々の中、子ども達と一緒に、この新生活に少しずつ慣れていった11月でした。

この1か月間は、一言で言うとうと本場に大変でしたが、それだけではなくこの地に戻ってこることが出来、新たなスタートを切れた事に、嬉しい気持ちも湧いていました。12月は、更に落ち着いて生活が出来る様に、保育の工夫もしながら、過ごしていきたいと思えます。

保護者の方も“不便なのでここを改善してほしい”“これは、どうなっているの？”など意見がありましたら、遠慮せずその声を直接、職員に届けて下さい。どうぞ、よろしくお願ひします。

11月から新しく採用した臨時職員が多く、保護者から「どの人が職員で、どの人が保護者か分からない」という声がありました。そこで、職員と分かるように暫くの間、目印として左腕にアトムの園章を付ける事にしました。